

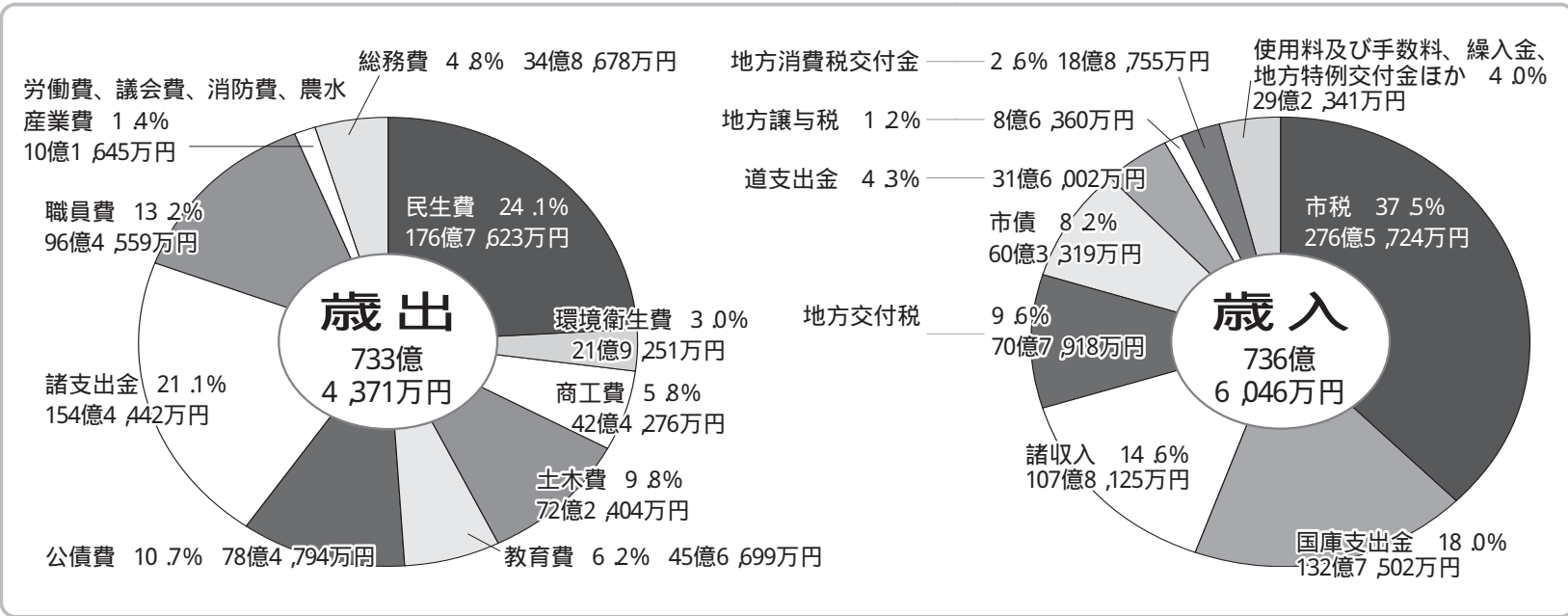
決算状況

詳細 財政課 電話(32)6212

平成21年度決算の結果は、財政健全化法に基づく四指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）のいずれも早期健全化基準を下回りましたが、資金不足比率では1会計で経営健全化基準を上回るなど、依然として厳しい財政状況が続いています。

各会計の決算概要をお知らせします。

一般会計の決算状況



一般会計は私たちの生活に密着した福祉の増進や安全の確保、教育・文化の振興、ごみ処理や道路・公園の維持整備など、市政の基本となる会計です。

歳入(年度中の収入)の総額は736億6千446万円で、前年度に比べ9億6千951万円(13%)減少しました。

歳出(年度中の支出)の総額は733億4千371万円で、前年度に比べ9億2千141万円(12%)減少し、差引額3億1千675万円の黒字になりました。

これは歳入の根幹である市税をはじめ、諸収入、道支出金などが減少しているものの、国庫支出金が35億7千5万円の(36.8%)の大幅増となったことによるものです。

歳出のうち、臨時事業費は総額219億1千840万円で、今後のまちづくりに必要な事業である道路・公園の建設・改修をはじめ、第1学校給食共同調理場移転新築事業(仮称)沿ノ端健康増進施設建設事業、学校改修事業、緊急雇用創出事業などを実施しました。また、毎年度経常にかかる経費については、景気後退により扶助費が増加となっています。

市民一人あたりの決算額



市税負担額
159,122円(7,212円減少)

使われた経費
421,972円(5,887円減少)

主な内容

- 扶助費 [福祉の充実に]
88,524円(3,301円増加)
- 人件費 [職員の給与などに]
51,499円(1,685円減少)
- 公債費 [借入金の返済に]
44,302円(1,761円減少)
- 投資的経費 [施設建設などに]
33,806円(11,200円減少)

金額は一般会計の決算額を平成22年3月31日現在の人口173,812人で割ったもの。()は対前年度比

特別会計の決算状況

国民健康保険事業

平成21年度決算では920万円の黒字となり、昭和53年度決算以来31年ぶりに累積赤字を解消できました。

老人医療

平成20年度からの後期高齢者医療制度開始により、本会計は老人医療制度に係る20年3月診療分以前の医療費過誤調整のみとなり、前年度に比べ会計の規模は縮小しています。

沿ノ端鉄北土地地区画整理事業
平成21年度決算の赤字分は、平成22年度からの繰り上げ充用金を充てました。

職員退職手当基金

定年や勤奨の退職者93人と普通退職者37人に退職金を支給しました。

霊園事業
平成21年度は117区画を造成しました。

企業会計の決算状況

水道事業

新設事業では錦岡地区などへの配水管布設や、沿ノ端地区に緊急貯水槽などを新たに設置しました。また、改良事業では老朽化した配水管の布設替えや、錦多峰浄水場のポンプ動力操作盤更新工事などを行いました。

収益的収支は3億9千666万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は3億4千621万円でした。

下水道事業

宮の森地区などの汚水管を整備し、水洗化便所普及率99.6%になりました。また、宮前、美原、川沿、清水地区などの浸水対策として雨水管を整備しました。合流式下水道改善対策は、音羽・双葉地区などの汚水管面整備、西部地区の汚水幹線整備また、西町下水処理センター場内ポンプ場の築造に着手しています。収益的収支は5億713万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は4億4千953万円でした。

自動車運送事業

車両老朽化対応のため、中古乗合車両を5台購入したほか、バス待合所を3棟新設しました。また、割引制度などの継続的な実施により、利用者確保に努めた結果、年間輸送人員で37万2千人の利用がありました。前年度より17万2千人の減少になりました。収益的収支は7千195万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は7千193万円でした。

市立病院事業

良質な医療提供体制を維持するため、医療スタッフの確保を図り、医師5人、看護師20人などを増員しました。また、大動脈バルーンポンプや凍結組織切片作製装置などの医療機器を整備しました。収益的収支は

介護保険事業

平成21年度の決算では、8千833万円を次年度へ繰り越しました。

後期高齢者医療
平成21年度の決算は歳入歳出とも13億8千321万円でした。

特別会計決算一覧

会計名	21年度決算	差引
国民健康保険事業	歳入 168億0,129万円 歳出 167億9,209万円	920万円
老人医療	歳入 5,618万円 歳出 3,646万円	1,972万円
沿ノ端鉄北土地地区画整理事業	歳入 6億7,341万円 歳出 28億1,702万円	21億4,361万円
職員退職手当基金	歳入 23億8,527万円 歳出 23億8,527万円	-
霊園事業	歳入 8,721万円 歳出 8,721万円	-
介護保険事業	歳入 86億2,939万円 歳出 85億4,056万円	8,883万円
後期高齢者医療	歳入 13億8,321万円 歳出 13億8,321万円	-
合計	歳入 300億1,596万円 歳出 320億4,182万円	20億2,586万円



1億6千714万円の赤字で、消費税と地方消費税を整理した純損失は1億6千631万円でした。

土地造成事業
錦西ニュータウン、明野地区などを分譲し、収益的収支は9億3千671万円の純利益を計上しました。

市営住宅事業

明徳団地で3階建て1棟(24戸)と駐車場を完成、3階建て1棟(24戸)の建替事業に着手し、東開町団地に90台の駐車場を整備しました。収益的収支は1億21万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は9千892万円でした。

公設地方卸売市場事業

計画修繕として、青果棟事務所の一部外壁改修や売場内冷蔵庫の改修工事を行い、機能維持を図りました。経営内容については、収益的収支で純利益は1千424万円でした。

企業会計決算一覧

会計名	収入	支出	差引
水道事業	収益的 30億1,837万円 資本的 7億6,133万円	26億2,171万円 19億9,445万円	3億9,666万円 12億3,312万円
下水道事業	収益的 40億9,437万円 資本的 25億5,533万円	35億8,724万円 45億2,992万円	5億0,713万円 19億7,459万円
自動車運送事業	収益的 14億8,970万円 資本的 3,143万円	14億1,775万円 4,648万円	7,195万円 1,505万円
市立病院事業	収益的 90億3,657万円 資本的 7億1,235万円	92億0,371万円 10億7,593万円	1億6,714万円 3億6,358万円
土地造成事業	収益的 16億6,061万円 資本的 -	7億2,390万円 3,621万円	9億3,671万円 3,621万円
市営住宅事業	収益的 16億8,183万円 資本的 7億6,593万円	15億8,162万円 11億5,299万円	1億0,021万円 3億8,706万円
公設地方卸売市場事業	収益的 1億4,617万円 資本的 1,353万円	1億3,193万円 2,706万円	1,424万円 1,353万円
合計	収益的 211億2,762万円 資本的 48億3,990万円	192億6,786万円 88億6,304万円	18億5,976万円 40億2,314万円